

請 願 番 号	請願第 2 号
件 名	早急に小中学校の 3 5 人以下の少人数学級を求める請願
受 理 年 月 日	令和 4 年 6 月 7 日
紹 介 議 員	井深正美、森下満寿美、堀田信夫、松原徳和、服部勝弘、 田中成佳、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>( 請 願 要 旨 )</p> <p>昨年、日本政府は、公立小学校の 1 学級当たりの上限人数を 3 5 人とする公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案を閣議決定し、2 0 2 5 年度までに小学校全学年で実施するとした。</p> <p>それを受け、岐阜市では、現在 3 5 人学級が小学校では 5 年生まで、中学校は 2 年生まで実施されているが、残る小学 6 年生と中学 3 年生の 3 5 人以下の少人数学級の早期実現を求める。</p> <p>学校現場においては、特に最高学年である小学 6 年生は、卒業や中学進学への準備、中学 3 年生は、卒業や高校入試等の進路相談で、教員にとって、とりわけ業務負担の大きい学年である。新学習指導要領を踏まえ、児童生徒一人一人に応じたきめ細かい対応が必要となり、少人数学級の実施が急がれる。</p> <p>国の決定に従った実施ではなく、現状を踏まえた岐阜市独自の先行した対応を求め、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市独自の取組により、早急に全小中学校の 3 5 人以下の少人数学級を実施すること。</li> <li>2 教員の負担増にならないよう少人数編成を可能とする教員を確保すること。</li> <li>3 少人数学級の拡充に向け、必要となる教育予算を確保すること。</li> </ol>	
審 議 結 果	令和 4 年 6 月 2 3 日 (木) 不採択